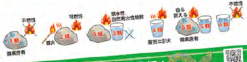


## 危険物の類と共通する性状(その1) ～3行の歌詞でラクラク暗記～

危険物の性状および性状 第4類の試験で共通する性状として出題  
危険物は、下表のように第1類から第6類の6つに分けてあります。1頁  
目において共通(90℃)で覚えた後は第4類に現れ、気体は危険物に含まれません。

種別	性状	性状	性状	性状	性状	性状
第1類	引火点	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼
第2類	引火点	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼
第3類	引火点	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼
第4類	引火点	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼
第5類	引火点	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼
第6類	引火点	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼	燃焼



**歌って覚える!**

危険物の性状および性状を  
歌って覚える

3行の歌詞でラクラク暗記

合格のエッセンスが  
詰まった一冊!

歌って覚える  
ゴロ合わせ  
動画満載!

ラクしてわかる!

**乙4類  
危険物  
試験**

覚えるゴロ満載!

合格のエッセンスが  
詰まった一冊!

## 歌って覚える!

危険物の類と共通する性状との関係について、次のうち正しいものはどれか。

- 第1類……気体または液体
- 第2類……液体
- 第3類……気体
- 第4類……液体または液体
- 第5類……固体

① 歌詞を思い出して空を完成させる  
② 表を確認する

## 第4石油類 ～潤滑油と可塑剤～

第4石油類とは、1頁目において引火点が200℃以上、235.0℃未満のものとする。第4石油類に該当するものとして潤滑油と可塑剤があります。潤滑油に軽油、マシン油、マシン油、切削油等の石油系潤滑油が最も多く含まれています。アスファルト系ニス等に高性能油を考慮するに追加される物です。

第4石油類の共通する性状(禁止事項)

- 引火性がある液体・半固体・気体(30℃では燃焼(発火)しない)
- 水に溶けない
- 潤滑油や可塑剤など、多くの性状がある
- 引火点の範囲が、水蒸気飽和蒸気圧と水分が飽和して凍結し、凍結したとき、凍結点が高く引火点の範囲が狭くなる
- 可塑剤を用いた切削作業では、切削屑等たりの引火量が少なく、燃焼熱により引火のおそれがある
- 引火点が高いので、燃焼しない限り引火の危険性は低い
- 潤滑油を用いた機きり入れ作業では、潤滑した金属を早く冷却に浸し、引火のおそれがある

第4石油類の性状(試験) (上記の性状と合わせて暗記!)

引火点 引火点 引火点 引火点 引火点 引火点 引火点 引火点 引火点 引火点

**歌って覚える!**

危険物の性状および性状を  
歌って覚える

3行の歌詞でラクラク暗記

合格のエッセンスが  
詰まった一冊!



## 歌って覚える!

第4石油類の性状として、次のうち誤っているものはどれか。

- 常温では気体でない
- 水に溶けず粘度が高い
- 潤滑油や可塑剤など、多くの性状がある
- 第1石油類より引火点が高い
- 火災になった場合は燃焼が高く引火が困難となる

① 第4石油類の共通する性状(まとめ)に注目  
② 引火点値  
③ 第1石油類<第2石油類<第3石油類<第4石油類の順

第1石油類より引火点値(引火点)が高い  
第4石油類の引火点値は200℃未満です。

## 歌って覚える!

引火点が高いものから低いもの順になつていものは、次のうちどれか。

- 自動車ガソリン→トルエン→ガソリン
- 自動車ガソリン→灯油→トルエン
- 自動車ガソリン→ガソリン→灯油
- トルエン→自動車ガソリン→灯油
- トルエン→ガソリン→灯油

引火点が高いものから低いもの順になつていものは(1)です。

- 自動車ガソリン(40℃以下)→トルエン(40℃)→ガソリン(20℃以下)
- 自動車ガソリン(40℃以下)→灯油(60℃以上)→トルエン(40℃)
- 自動車ガソリン(40℃以下)→ガソリン(20℃以下)→灯油(60℃以上)
- トルエン(40℃)→自動車ガソリン(40℃以下)→ガソリン(20℃以下)
- トルエン(40℃)→ガソリン(20℃以下)→灯油(60℃以上)

# イラストが多く 覚えやすい フルカラー

合格のエッセンスが  
詰まった一冊!



# ラクしてわかる! 乙4類危険物試験

オーム社 編  
A5判/定価1,870円(税込)  
ISBN 978-4-274-23081-3